

自己評価結果公表シート(令和5年度)

宮山台幼稚園

1. 本園の教育目標

「元気な子」・「考える子」・「思いやりのある子」の三原則を達成するための、一人ひとりに応じたきめ細やかな指導

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

園の安全安心のための仕組みを再構築し、子どもが主体的に活動できるような環境を整えるよう取り組みます。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 保育の計画性	日々の保育において、子どもたちの見通しがたつよう1日の流れや行事等について前もって話しをすることで保育に期待が持てるような環境を整えるようにします。
② 保育のあり方、幼児への対応	子どもの健康や安全面に留意しながら、コロナ5類移行後の保育を改めて見直すとともに、子どもの主体性を大切にした適切な環境の構成について会議で話し合い、日々の取り組みについて教職員間で共有します。行事の内容についても年齢に応じて、子どもの意見を取り入れる機会を増やしています。
③ 保育者としての資質や能力・職員間の相互理解	全体会議で、職員が意見を述べることはかなりハードルが高い様子が見られます。学年単位での対話を重ねることで発言の機会は増えると思います。また日々の会話を大切にすることで、少しでもそのハードルが下がれば良いと考えています。
④ 保護者との関わり	コロナ5類移行後、人数制限なしに参加できる行事が増え、子どもたちの活動の様子を間近に見る機会が増えたことは、保護者にとっても園にとっても良い傾向であると思います。また、保護者の了解を取ったうえ、保育の様子を動画や画像でSNSにて発信し好評を得ることができています。今後も継続していきたいと思います。
⑤ 研修の充実	コロナ5類移行後、園外では幼稚園連盟・大阪府・堺市の専門研修や総合研修が、以前の対面に戻りつつあります。リモート研修に加えて意欲的に参加しています。マネージメント等の分野は経験年数に応じて取得し、自身の立場や役割について改めて認識する機会となっています。また、各研修から習得した内容を園に持ち帰り、職員間でプレゼンテーションをすることで、情報共有をしています。キンダーカウンセリング事業では、気になる子ども全般のことから、具体的な場面での対応について幅広い研修を行いました。

⑥ 安全対策と施設整備の推進	バスの置き去り事件以前より、安全のため様々な設備等の更新を行っていましたが、今年度バスの置き去り防止装置の設置及び、乳児の保育室に見守りカメラの設置、を完了しました。その設備を有効に活用するためマニュアルを作成するとともに職員への周知を徹底しました。
⑦ 健康管理の充実	園児・教職員の各種健康診断を行っています。コロナ 5 類移行後の衛生面・安全面についての情報収集と対応について検討しています。

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・全体的にはおおむね取り組むことができている。
- ・幼児・乳児の安全面を再確認すべく、行政通知等の情報、職員、保護者の意見を取り入れて、今までのあたりまえを再度見直しました。
- ・SNS を活用し、保護者や外部に情報発信できていると思います。
- ・それぞれの自己評価や話し合いを通して、全教職員が共通理解を図り、園としての方針を確認することができたと思われま。
- ・キンダーカウンセリングの実施により、保護者の不安な気持ちだけでなく、職員の気持ちもやわらいだことは、大変良かったと思います。

5. 今後取り組むべき課題

- ・安全安心な園づくりに終わりはないため、行政通知にとどまらず新聞等の切り抜きを回覧するなど日々更新するように努めます。
- ・保護者を含め、外部への情報発信をさらに充実させていきます。
- ・子どもの主体性を大切にした環境構成については、講師の先生等からも情報収集をし、新しい教材や素材を取り入れた保育に挑戦することを課題としていきたいと思ひます
- ・視覚にうったえることで、理解が深まるような保育には、タブレット等を取り入れ、子どもたちが主体的に活動できる環境を広げていきたいと思ひます。

6. 学校関係者の評価

- ・全体的に妥当な保育・運営がなされていると認められます。
- ・令和 5 年度はコロナウイルス 5 類移行後、緩やかにではあるけれど以前のような活動が楽しく展開でき安堵しています。
- ・昨今、乳幼児の子育て環境が、虐待等、大きな問題として浮上しています。また昨年バス置き去り事案、不適切保育事案等保育等現場に大きな衝撃を与える出来事がありました。引き続き安全安心な園の運営を心掛けていただきたいと思ひます。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められています。